

平成 31 年度
東京大学工学部編入学学生募集要項

1. 募集人員・試験科目

学 科		試験科目	募集人員	
2科目受験学科(群)	社 会 基 盤 学 科	英語・数学	各学科若干名	
	建 築 学 科			
	都 市 工 学 科			
	マ テ リ ア ル 工 学 科			
	化学・生命系 学 科 (群)			応 用 化 学 科
				化学システム工学科
				化学生命工学科
シ ス テ ム 創 成 学 科				
3科目受験学科(群)	機 械 系 学 科 (群)	機 械 工 学 科	英語・数学・物理	各学科若干名
		機 械 情 報 工 学 科		
	航 空 宇 宙 工 学 科			
	精 密 工 学 科			
	電 子 ・ 情 報 系 学 科 (群)	電 子 情 報 工 学 科		
		電 気 電 子 工 学 科		
	物 理 工 学 科			
計 数 工 学 科				

※「志願者名票」に志望学科(群)を第2志望まで記入できるが、第1志望に2科目受験学科(群)を選択したら、第2志望も2科目受験学科(群)を選択すること。第1志望に3科目受験学科(群)を選択したら、第2志望も3科目受験学科(群)を選択すること。

2. 出願資格

高等専門学校を卒業した者及び平成31年3月卒業見込の者

3. 出願期間

平成30年5月7日(月)から5月11日(金)(ただし、5月11日(金)までの消印があり、かつ5月15日(火)までに到着したもので有効)

4. 出願方法

(1) 出願方法

下記(3)の検定料を納入し、(2)の提出書類等を角型2号封筒に折らずに入れて、書留郵便で下記あてに送付すること。封筒の余白に朱書きで「出願書類在中」と記入のこと。

〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学工学部学務課学部チーム

電話 03 (5841) 6036 (ダイヤルイン)

出願用書類は工学部 Web サイト(<http://www.t.u-tokyo.ac.jp/foe/admission/admit.html>)よりダウンロードすること。各書類はA4サイズ、片面印刷とする。

(2) 提出書類等

- ① 志願者名票 (本学部所定の様式に所要事項を記入したもの)
- ② 出身学校長の推薦書 (本学部所定の様式に所要事項を記入したもの、厳封のこと、なお、提出できない場合は、学校長からの「発行できない旨の文書」を提出すること)
- ③ 調査書 (本学部所定の様式に所要事項を記入したもの、厳封のこと、なお、提出できない場合は、学校長からの「発行できない旨の文書」を提出すること)
- ④ 成績証明書 (厳封のこと)
- ⑤ 志望調査票 (本学部所定の様式に所要事項を記入したもの)
- ⑥ 振込金受付証明書 (C票) (検定料振込依頼書の「振込金受付証明書 (C票)」に出納印が押されているもの。検定料振込金受付証明書貼付台紙 (本学部所定の様式) の所定欄に貼ること)
- ⑦ 写真票、受験票
(本学部所定の様式に所要事項を記入し、3か月以内に撮影した正面上半身無帽、背景無地のカラー写真を所定欄に貼ること)
- ⑧ 受験承諾書 (官公庁、会社等に在職の者のみ提出。本学部所定の様式に所要事項を記入したもの)
- ⑨ 英語に関する語学力の証明書の写し (TOEFL、TOEIC、英検、IELTS 等。提出は任意)
- ⑩ 返送用封筒1 (長形3号封筒に宛名を記入し、362円分の切手を貼り、封筒の余白に朱書きで「受験票在中」と記入のこと)
- ⑪ 返送用封筒2 (長形3号封筒に宛名を記入し、切手を貼らずに封筒の余白に朱書きで「第2次試験結果通知在中」と記入のこと)

※筆記試験 (第1次試験) 科目別得点通知を希望する者のみ提出

- ⑫ 返送用封筒 (長形3号封筒に宛名を記入し82円分の切手を貼ること、封筒の余白に朱書きで「第1次試験科目別得点通知在中」と記入のこと、なお、通知は8月1日(火)以降に行う)

(3) 検定料 30,000円

東京大学工学部編入学試験検定料振込依頼書により、指定口座に検定料を納入すること。国費外国人留学生は検定料の納入は不要であるので、国費外国人留学生である証明書を提出すること。

(風水害等の災害により被災した入学志願者の検定料の免除について)

本学では、地震や台風など風水害等の災害により被災された方の経済的負担を軽減し、受験者の進学機会の確保を図るため、検定料を免除する措置を講じる。検定料の免除を希望する者

は、出願前に東京大学 Web サイト (<https://www.u-tokyo.ac.jp/stu04/kenteiryomenjo.html>)を参照の上、本学部学務課（4の(1)参照）まで連絡すること。申請のあったものについて、審査の結果、対象と判断した場合、納付すべき検定料を免除する。

5. 選抜方法

入学者の選抜は、筆記試験、口述試験、及び出身学校の調査書による。

(1) 筆記試験（第1次試験）

試験科目	学 科（群） 名
英語・数学	社会基盤学科、建築学科、都市工学科、マテリアル工学科、化学・生命系学科（群）、システム創成学科
英語・数学・物理	機械系学科（群）、航空宇宙工学科、精密工学科、電子・情報系学科（群）、物理工学科、計数工学科

(注) 機械系学科（群）、航空宇宙工学科、精密工学科、電子・情報系学科（群）、物理工学科、計数工学科志願者は、英語、数学の他に物理の試験も受験すること。物理を受験しなかった場合は、当該学科（群）の志望は無効とする。

(2) 口述試験（第2次試験）

第1次試験の合格者のみについて行う。

(3) 出身学校の調査書

全受験者について、学習状況を総合的に判断する。

6. 試験日時及び場所

(1) 試験日時

種 別	日	時	試験科目	備 考
筆記試験 (第1次試験)	平成30年 7月1日(日)	9:00~11:00	英 語	機械系学科（群）、航空宇宙工学科、精密工学科、電子・情報系学科（群）、物理工学科、計数工学科志願者のみ
		12:30~15:00	数 学	
		15:30~17:00	物 理	
口述試験 (第2次試験)	7月13日(金)	11時から実施する。詳細は第1次試験合格者発表時に工学部掲示板及び工学部 Web サイト (http://www.t.u-tokyo.ac.jp/foe/index.html)へ掲示する。		

(2) 試験場所

試験場所は、おって志願者に通知する。

7. 合格者発表

(1) 第1次合格者発表

7月9日(月)午前10時頃、工学部掲示板に掲示する。また、7月10日(火)までに工学部Webサイト(<http://www.t.u-tokyo.ac.jp/foe/index.html>)に掲示する。

(2) 第2次合格者発表

7月20日(金)午後2時頃、前記掲示板に掲示し、7月21日(土)までに前記Webサイトに掲示する。また、別に第2次試験受験者あてに合否を郵送にて通知する。

※ 電話、FAX、メール等による合否についての照会には、一切応じない。

8. 注意事項

(1) 提出期日までに所定の書類が完備しない願書は受理しない。

(2) 出願手続後は、どのような事情があっても、書類の変更及び検定料の払い戻しはしない。

(3) 下記に示した()内の学科は、それぞれまとめて学科群として編入学試験を行うので、提出書類等における志望の選択にあたっては、学科群の名称を記入すること。

また、以下の学科群に合格した場合は、合格後(または入学後)に各学科群において個別の学科への配属を行う。

機械系学科群(機械工学科、機械情報工学科)

電子・情報系学科群(電子情報工学科、電気電子工学科)

化学・生命系学科群(応用化学科、化学システム工学科、化学生命工学科)

(4) 受験票は、5月28日(月)頃、直接本人に郵送する。6月4日(月)までに到着しない場合は、本学部学務課(4の(1)参照)に連絡し、受験に必要な指示を受けること。

(5) 事情によっては、出願手続、試験期日等について変更することもある。

(6) 受験あるいは修学上特別な配慮を必要とする者は、あらかじめ相談すること。

なお、内容によっては対応に時間を要することもあるので、4月末日までに本学部学務課(4の(1)参照)まで申し出ること。特別な措置が必要であると判断される場合には、診断書等の提出により本学部でその内容を審査のうえ、特別措置を決定する。

(7) 出願にあたって知り得た個人情報については、①入学者選抜(出願処理、選抜実施)、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用する。また、同個人情報は、入学者のみ①教務関係、②学生支援関係、③図書館の利用、④授業料徴収に関する業務を行うために利用する。

(8) 願書における履歴等について虚偽の記載をした者は、入学後においても入学を取り消すことがある。

(不測の事態が発生した場合の連絡方法)

災害等により不測の事態が発生した場合、編入学試験に関する情報提供は次のウェブサイト等により行うので、出願及び受験の直前は特に注意すること。

【東京大学工学部トップページ > トピックス】

<http://www.t.u-tokyo.ac.jp/foe/index.html>

平成30年4月

参考

平成32(2020)年度東京大学工学部編入学試験方法の変更について

東京大学の高等専門学校編入試の仕組みが、平成32(2020)年度編入(2019年度実施)の試験より、試験方法が変わります。

受験資格 旧来通り

試験科目

英語 3問

数学 4問

理科 物理分野3問、化学分野3問の計6問より3問を選択して回答、なお、学科によって受験している科目・分野に指定があるので、注意すること。学科の指定条件に合わない受験者は、当該学科を志望してもその学科についての志望は無効とする。

試験科目	学 科 (群) 名
英語・数学	社会基盤学科、建築学科、都市工学科、システム創成学科
英語・数学・理科(物理分野科目のみ3問を解答)	航空宇宙工学科、物理工学科、計数工学科
英語・数学・理科(物理分野科目2問以上を解答)	機械系学科(群)、精密工学科、電子・情報系学科(群)
英語・数学・理科(化学分野科目2問以上を解答)	応用化学科、化学生命工学科
英語・数学・理科(分野は問わず3問を解答)	マテリアル工学科、化学システム工学科

東京大学工学部入学案内

1. 工学部紹介

東京大学工学部は、1886年に設置された工科大学以来、時代のニーズに合わせた工学教育を実践し、日本における産業技術の中核を担う卒業生を輩出するとともに、その基礎技術を牽引する研究開発を行ってきた。科学技術が社会の中で生きてこそ意味があるという工学の原点から、様々な取り組みを行っている。その守備範囲は広く、原子レベルでの物質の理解から、それらを組み立て構造化する技術まで、情報の意味を問うことから、その効果的な伝達・処理技術まで、さらにこれら全ての技術が及ぼす社会的影響の評価に至るまでである。

現在、約2000名の学部学生、約3000名の大学院学生、約500名の教員、約200名以上の職員の規模で、16学科体制で運営し、その広範な工学教育・研究領域をカバーしている。

東京大学工学部は、今後も工学分野のイノベーションを通して、現代社会の抱える複雑な課題解決と未来社会の創生に貢献していく。

なお、工学部の学科（括弧内はコース）は、次のとおりである。

社会基盤学科	（設計・技術戦略、政策・計画、国際プロジェクト）	
建築学科	（建築学）	
都市工学科	（都市環境工学、都市計画）	
機械系学科群	機械工学科（機械工学）	機械情報工学科（機械情報工学）
航空宇宙工学科	（航空宇宙システム学、航空宇宙推進学）	
精密工学科	（精密工学）	
電子・情報系学科群	電子情報工学科（電子情報工学）	電気電子工学科（電気電子工学）
物理工学科	（物理工学）	
計数工学科	（数理情報工学、システム情報工学）	
材料工学科	（バイオ材料、環境・基盤材料、ナノ・機能材料）	
化学・生命系学科群	応用化学科（応用化学）	化学システム工学科（化学システム工学） 化学生命工学科（化学生命工学）
システム創成学科	（環境・エネルギーシステム、システムデザイン&マネジメント、知能社会システム）	

（詳細については、工学部 Web サイト (<http://www.t.u-tokyo.ac.jp/foe/index.html>) を参照のこと。）

2. 学 費 援 助

(1) 奨学金

日本学生支援機構・地方公共団体・民間育英事業団体の奨学金がある。出願手続等の詳細については、その都度掲示等により周知する。

(2) 入学料免除

入学前 1 年以内において、本人の主たる学費負担者が死亡し、又は風水害等の災害を受けたことにより、入学料の納入が著しく困難であると認められる者、若しくはこれ等に準ずる者であって総長が相当と認める事由がある場合は、選考のうえ入学料の全額又は半額が免除される。

(3) 授業料免除

経済的理由によって納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者については、選考のうえ授業料が免除される。

出願手続等の詳細は、工学部学務課から掲示その他により周知する。

3. 学 生 宿 舎

編入学する学生が入居申請できる学生宿舎は次のとおりである。

名 称	所 在 地	定 員	通学所要 時 間	宿 舎 費	
				自治会費 (月額)	入寮費 (保証金)
豊島国際学生宿舎 (男子・女子) A 棟	豊島区西巢鴨 2-31-7	200 名	自転車 25 分	10,000 円	50,000 円
				1,500 円	
豊島国際学生宿舎 (男子・女子) B 棟	豊島区西巢鴨 2-31-7	300 名	自転車 25 分	36,300 円 又は 20,000 円	50,000 円
				1,500 円	
追分国際学生宿舎 (男子・女子)	文京区向丘 1-12-8	150 名	徒歩 11 分 自転車 5 分	36,300 円 又は 20,000 円	50,000 円
				1,500 円	

※ 後期課程に在学する学生が入居できる学生宿舎及び寄宿料等の詳細は、東京大学キャンパスライフのホームページ (http://www.u-tokyo.ac.jp/index/h04_j.html) を参照のこと。

4. 卒 業 要 件

編入学生は、3 年以上在学し、所定の単位を取得し、かつ卒業論文試験に合格しなければならない。

5. 履修単位認定について

高等専門学校において取得した単位のうち、編入学後本学部卒業単位として認定する単位（基礎科目、総合科目及び専門教育科目）は最大で 43 単位とする。